

寅さん歩 その 20

官公庁の食堂めぐり-28 江戸川区役所



平野 武宏

昨年は東京の大学の学食を食べ歩きました。「寅さん歩」の愛読者から「次はお役所や企業の食堂をお願いします」との声がありました。日本の中枢、中央合同庁舎のある霞が関・大手町や東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催で盛り上がっている東京都庁の食堂を訪問しました。これからは東京 23 区の区役所の食堂を訪問します。

東京 23 区に番号が付いているのを初めて知りました。そのもとは旧自治省（現総務省）が作ったコード番号表です。旧江戸城＝皇居や霞が関官庁街のある千代田区が 1 番です。千代田区を中心に、ここから「の」字にぐるぐる回る順番のようです。

今回は 23 番のアンカーの江戸川区です。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないよう配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。

メニューや値段は訪問時のもので、最寄り駅は代表例です。

〔江戸川区役所〕 江戸川区中央 1-4-1

最寄駅 新宿線 船堀駅から都バス江戸川区役所前

江戸川区は 1932 年(昭和 7 年)3 町 4 村が合併し人口 10 万人からスタートしました。区名は地域の人々の母なる川 江戸川をそのまま冠にしました。太平洋戦争では平井・小松川地区が焼失、戦後も台風の直撃を受けて区内大半が水浸しになるなど苦難の歴史が続きました。しかし新たな開削で自然災害を乗り越え土地区画整理の推進などによって生活環境の整備は大きく進み、今や大東京の膨張を支える臨海の地としてさらに新しい発展を続けています。

船堀駅南口バス 1 番乗り場から約 15 分で到着です。

正面が南棟庁舎で西棟庁舎、東棟庁舎、北棟庁舎が「この字」に繋がっています。

近くには第二庁舎、第三庁舎、分庁舎があります。



【ラウンジ おあしす】

南棟庁舎 5F に食堂「ラウンジ おあしす」があります。

ランチ営業時間は 11 時 20 分～15 時です。

写真下左は日替わり B セット 600 円、写真下右はメガカレー 620 円
(1 日 3 食限定) で食べたつもりです。



この他のメニューは日替わり A セット 600 円、日替わり弁当 600 円、
カレー 200 円 (ミニカレー) ～500 円 (カツカレー)、ラーメン 350 円～450 円
(スペシャル麺)、うどん・そば 250 円～450 円(カレーうどん・そば)があります。

「寅さん歩」の江戸川区紹介は次の通りで、番号は「寅さん歩」の目次番号です。

江戸五色不動めぐり：10、東京の富士塚めぐり：32、33、34、健康ご利益めぐり：62
東京の紅葉・黄葉：83、江戸の祭り：98、100、江戸・東京 (23 区) の百名山：144
東京の桜：167、東京にこんなところ：168、江戸の閻魔大王：169

江戸川区の木は「クスノキ」、花は「ツツジ」です。



【バーチャルウォーク 途中経過】

2018 年 (平成 30 年) 10 月 1 日沖縄県辺戸岬をスタートした聖火
は沖縄県那覇市から鹿児島県、宮崎県、大分県、福岡県、山口県、
岡山県、兵庫県、大阪府、京都府、滋賀県、三重県、愛知県を経て
静岡県に入っています。2019 年 (令和元年) 10 月 11 日現在、
スタートから 1423 K m 地点 (掛川市) を通過しました。

ウォーキングでは人や自然との多くの「出会い・ふれあい」があります。
寅次郎も「映画の寅さん」に負けないくらいの人との出会いがあります。
ご迷惑をかけない範囲でご紹介します。

[寅次郎がウォーキングで出会った人—26]

～ フジロードを創設した幼馴染 ～

藤沢小学校で6年間同じクラスだった山下國雄さんです。

当時の藤沢小学校の学区は藤沢駅南口の鵜沼の一部が入っており、山下さんは鵜沼から藤沢駅を越えて通学していました。小学校のすぐ下が自宅だった寅次郎にとっては通学路が長い同級生たちをうらやましく思っていました。

卒業後、中学校は山下さんは鵜沼中学と寅次郎は藤沢一中と別れ、お互いに別の道を歩き、再会したのは1997年(平成9年)の湘南新宿ライナーの車内でした。東海道線は毎日座って通勤できる湘南ライナー(小田原駅～東京駅)ライナー券300円(コーヒー1杯分と宣伝)を1986年(昭和61年)発売しました。通勤ラッシュに悩まされるサラリーマンには画期的な出来事でした。1988年(昭和63年)には湘南新宿ライナー(小田原駅～新宿駅)も登場し、渋谷駅が乗降駅だった山下國雄さんと寅次郎が利用しました。中央本線の特急「あずさ」の車両を使って



いました。写真右は現在の「あずさ」車両です。号車指定で同じ号車内は自由に座れました。藤沢駅発車後に聞く「次は渋谷」の車内アナウンスは最高でした。戸塚駅を過ぎ、貨物線を走り、多摩川を渡ると渋谷駅でした。

毎日のライナー券の他に1ヶ月券も発売され、月末は予約のため徹夜の行列でTVニュースの話題にもなりました。予約の激戦は9時前に東京駅に到着の湘南ライナーで、湘南新宿ライナーは早朝でも予約が出来ました。徹夜の人を見ていると寝袋からすっぴん顔を出しているのは奥様達でした。ご主人の通勤を楽にさせるための内助の功です。

当時の仕組みは早朝に配られる用紙に第一希望・第二希望を申し込み、16時に結果発表(○当選・△補欠・×落選)が張り出され、支払いをすると1ヶ月券が入手できました。

1999年(平成11年)3月から料金は500円に大幅値上げされました。寅次郎、藤沢駅の職員に「コーヒー代はむしろ値下げされている」とクレームを言いましたが、「本社が決めたこと」との回答でした。

食品関係の会社のトップにまで上り詰めた山下國雄さんは車内で会社卒業後の生き方について「市の広報で藤沢市生涯学習大学(カワセミ学園)の存在を知り、申し込んだ」と熱く語っていました。公園の藤棚の手入れがされていないと嘆き、2年目の学習テーマ課題に「市の花 藤を保護、

育成しフジロード構想を考える」、チーム名を「藤倶楽部」としたそうです。生涯学習大学終了後、この構想を具現化しようと2007年(平成19年)11月ボランティア団体「藤倶楽部」を10人のメンバーで創設し、「市内の北から南の公園にある藤棚を保護・育成してつなぐフジロード構想」を市に提案したそうです。育成のために藤の専門家 大庭在住の端山照次郎さんを講師にお願いして、市内剪定業者の人たち向けの講習会や市民向け講習会まで企画・実施したそうです。

寅次郎は「整備されたらウォーキングコースとして皆を連れて歩き、フジロードを広める」と約束しました。そして写真下のような立派なパンフレットも市にて作成され、FWAでは定番の例会「フジロード」は毎年開催されています。約300名の参加者があり好評です。



レディオ湘南（カワセミ学園）では①藤倶楽部代表の山下國雄さんの「藤倶楽部の設立とフジロード構想」②藤倶楽部顧問の端山照次郎さんの「フジに魅せられて60年、保護育成に積極的に取り組む」③藤倶楽部相談役 廣田邦夫さん（元 市公園みどり課長）の「フジの楽しみ方と品種、市花 藤について」④藤倶楽部運営委員4名の「藤倶楽部の活動概況と目標・夢」が2010年(平成24年)10月26日から4回にわたって放送されたそうです。

写真右は端山藤園の見事な藤です。

「フジロード」は見事に整備され、2016年(平成28年)10月1日の藤沢市制記念日には公共生活向上への貢献度が認められ、藤倶楽部が「徳行」の表彰を受けられました。



又、2019年（平成31年）4月27日夕方のNHK関東地区向けニュースで山下國雄さんがインタビューを受けていた姿が放映されていました。短い放映時間だったのでFWAのウォーキングには触れていませんでしたが、2019年（令和元年）9月のクラス会で見せていただいたレディオ湘南での山下さんの原稿には「素晴らしい人達との良い出会いのおかげ」として端山さんや市の関係者に加えて、湘南ふじさわウォーキング協会の平野会長始め幹部の方々にも積極的に取り組んでご協力くださいました。このように私たちの思いに賛同してくださる良い人々達に出会えたお蔭で目標が出来ております。と書かれていました。

仕事で全国各地を駆け回り、ゴルフやテニス、ジャズ・クラシック・歌謡曲、旅など多趣味で精力的な活動家の山下さん、会社卒業の時には奥様が「これで一緒に長くいられる」と喜んだという話を聞き、「なんと素晴らしい奥様だ！」と感心した寅次郎でした。「これから毎日家において新たに昼食の面倒までみなければ」と嘆く奥様が多いのが常ですが・・・

山下國雄さん、1970年（昭和45年）の市花創設から50周年を迎え、後世への伝言の必要性を強く感じ、「市の花フジの歴史と展望」をまとめて本（90ページ）にする大仕事に取り組んでいるそうです。

「フジロード」をまだ歩いていない方は是非、散歩で訪れるか、FWAの例会（広報ふじさわに掲載）にご参加ください。

次回は 官公庁の食堂めぐり-29 八王子市役所 です。

平野 寅次郎 拝